

タウンニュース

越木岩

令和7年5月1日発行
No.391 (年6回発行)

編集・発行
越木岩地域コミュニティ協議会

絵馬からひもとく

越木岩の先人たち ⑤

越木岩神社 飯森良光宮司

今号で、5回にわたった連載も最後となります。最後は、最も新しい絵馬2面を紹介いたします。

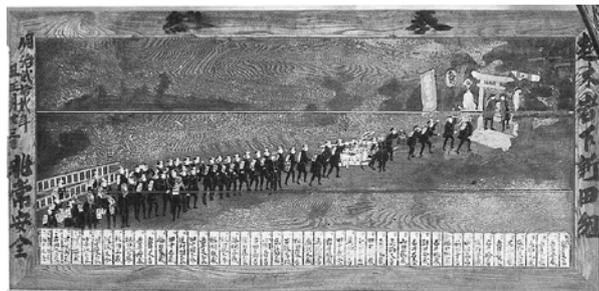
明治22(1889)年丑正月23日付けで、越木岩上新田組と下新田組より、それぞれ1面ずつ奉納されたものです。

上新田は現在の西平町・松風町・豊楽町北部辺りの地域、下新田は南越木岩町・石劔町・菊谷町・松生町・桜町・豊楽町南部辺りの地域です。



▲上新田組奉納

▼下新田組奉納



上・下組に描かれた消防夫は約80人になります。

上・下組ともに参詣の様子が描かれています。奉納された時期から、出初め式の様子を描いたのかもしれませんが。

上組の絵馬は縦約75cm・横166cmの板に描かれたものです。お社や松が描かれ、消防夫は黒の法被ともんぺ装束で、青色の火事羽織に頭巾の衣装取締役2人が先頭に立っています。町火消が火災現場

で使用していた火消し道具の一つ・消防まとい(纏)と高張提燈が掲げられています。その他に組旗半鐘・鳶口・竜吐水(ポン)

プ)・梯子などが持たれています。

下組の絵馬は縦約95cm・横200cmの板に書かれています。持ち物などは上組と同じようですが、取締役2人は茶色の火事羽織のようです。大変興味深いのは下組の絵馬の下部には、その当時の消防組員の名が記されていることです。吉井・磯野・田中・古田・

播間・津戸・真鍋・福田・福井・灘儀・小西氏など、現在もこの地域に住んでいる人たちの先祖ということ、地域のために代々消防夫を務めている人もいます。

また、明治ごろの境内や神社周辺の様子も伺えます。現在は、境内に松はほとんどありませんが、年配の人に尋ねるとアカマツがたくさん育っていたようです。越木岩地域にも松風町・松生町・松ヶ丘町・老松町の町名があるように、松が多く茂っていたことでしょう。鳥居までの参道は、もちろんアスファルトではなく土の農道でした。神社にお参りに行くにもひと苦労だったでしょう。

大絵馬は奉納されていません。最近、記録を写真として残すことも少ないようです。デジタルの発達で、大絵馬を奉納するという慣習もほとんどなくなったからかもしれません。

絵馬は、今では社寺や地域の風習・文化、奉納された時代の人々の願い、生活を伝える貴重な資料、文化財ともなっています。私が宮司を務めている間には、今を後世に伝えるために、大絵馬の作成に取り組みたいと考えています。神社の秋祭りの奉祝行事として、だんじり巡行が盛大に執り行われていますが、この地域では秋の風物詩となっているのではないのでしょうか。泣き相撲も、毎年多くの子どもたちやその家族が参加しています。4年前から大相撲三月場所(大阪春場所)の際に、二子山部屋が当社を宿舎として利用しており、その頃に香る力士のびんげけ油が春の風物詩となることでしょう。そのような今を「絵馬」に描くことで、令和の越木岩地域を未来に伝えるという方法も魅力的ではないでしょうか。

令和7年4月に
西宮苦楽園高等学校が開校



西宮北高等学校の2・3年生と西宮苦楽園高等学校の1年生が通う校舎
(県立西宮苦楽園高等学校ホームページより)

越木岩地域の子どもたちも通う苦楽園小学校と苦楽園中学校の隣に、県立西宮苦楽園高等学校が4月に開校しました。当校は、県立西宮北高等学校と県立西宮甲山高等学校の両校が、約3年の年月をかけて開校準備を進めてきた発展的統合校で、県立西宮北高等学校の校舎が活用されています。令和7年度は、県立西宮苦楽園高等学校の生徒は1年生だけで、県立西宮北高等学校と県立西宮甲山高等学校は、2・3年生となります。

教育のグランドデザインの柱は「デジタルスキル」×「探究的な学び」です。デジタル人材を育成するためのデジタル教育の拠点校となる「DXハイスクール」として、令和6年度に文部科学省より指定を受けました。コースは普通科に加え、文理探究科が創設され、この科では「全世界が探究フィールド」「デジタル技術の習得と活用」「大学・地域との連携協働」の三つのフィールドで、世界の諸課題をテーマとした学び、プログラミングに力点を置いたロボット制御やアプリ開発などの技術の習得、そして大学・企業などとの連携授業や講演会が展開されます。また、普通科でもプログラミング能力やICT活用能力の向上を目指しています。



学校に配備されるVR
(県立西宮苦楽園高等学校ホームページより)

学習環境では、ハイスペックパソコンが完備された探究ルームを新設する他、3Dプリンター、VR(バーチャルリアリティ)、ドローン、プログラミング用小型ロボットなどの備品が整備され、入学は授業で活用できます。また、県立西宮北高等学校の校舎全館の内装・外装工事、トイレ改修工事も進み、来年度には320人収容可能な講義棟を建設する予定です。県立西宮北高等学校は越木岩地域にとって身近な学校でした。DXハイスクールとして生まれ変わった県立西宮苦楽園高等学校は、地域の中学生や保護者にとって、今後の展開が非常に楽しみな存在となりそうです。

6年ぶりの開催
越木岩自主防災の日

「第24回越木岩防災の日」が1月26日、北夙川小学校の体育館で6年ぶりに開催されました。今年は阪神・淡路大震災から30年の節目の年で、連日、テレビなどで震災に関する報道があり、小学校でも震災についての学習が行われていたこともあり、多くの人が参加しました。



AEDの後、救急車が到着するまで心臓マッサージを続けます

「第24回越木岩防災の日」が1月26日、北夙川小学校の体育館で6年ぶりに開催されました。今年は阪神・淡路大震災から30年の節目の年で、連日、テレビなどで震災に関する報道があり、小学校でも震災についての学習が行われていたこともあり、多くの人が参加しました。

会となったようです。

AEDの使い方が分からず自信がないと尻込みする人が多くいましたが、実際に使ってみると、意外に簡単だという声が聞かれました。百聞は一見にしかずとはまさにこのことですね。



毛布とポール2本で作った担架だけが人を運びます

その他、ロープワークや通報訓練、毛布を使った簡易担架の組み立て体験なども行い、大人だけでなく子どもたちも積極的に訓練に参加していました。

大きな地震や台風などの災害は、必ず来るといわれています。いつか来るそのときに備えて、防災訓練や地域の皆さんで協力し合うことの大切さを、改めて感じた1日となりました。



雪山でぐんぐん上達!

雪と伝統とおいしさと! 冬の活動報告!
ボーイスカウト西宮第3団・第13団
 白銀の世界を大冒険!

ローバー隊(18~25歳)主催のスキーツアーが、2月8日から1泊2日でハチ高原(養父市)で開催され、ボーイスカウト西宮第3団、13団合わせて28人の子どもたちが参加しました。

大寒波が到来して厳しい寒さの中で、スキーが得意な子も初めての子も、それぞれのレベルに合わせたローバー隊の指導の下で、どんどん上達! 広いハチ高原のゲレンデを存分に満喫しました。

夜はみんなで輪になって、頭を使ったパーティーゲームで大盛り上がり。世代を超えた交流の楽しさとスキーが上達していく喜びは、一生忘れられない冬のすてきな思い出となりました。

どんな鍋を作るかを、事前にグループごとに相談してスーパードで食材を調達。当日はまきを集めて火を起こし、食材を切り分け、協力しながら調理に挑戦しました。鍋が煮えるのを待つ間は、ホットココアでひと息。でき上がった鍋を食べて「おいしい!」の声が飛び交いました。

優勝は素材の食感をうまく引き出したウマ塩鍋です。食



みんなで作るとおいしいね!



「よいしょー!」
迫力満点の餅つき



葉っぱを並べて土俵を作ったよ!

料理大会! テーマは「鍋」

甲山キャンプ場で2月16日、ボーイスカウト創始者の誕生日を祝うB-P祭が開催され、今年はグループごとにオリジナル鍋を作る「鍋ー1グランプリ」が行われました。

後は、コマ遊びやしっぽとりゲームで元気いっぱい体に動かしました。

今年も開催!

二子山部屋の力士たちと

夙川ボーイスカウト育成会は、3月2日に越木岩神社を宿舍としている二子山部屋の力士たちとの交流イベントを行いました。椿まつりも同時開催され、北夙川と苦楽園の子ども会、越木岩青年会の協力を得て、500人を超える来場者で大盛況となりました。

スカウトたちもちゃんこ鍋を堪能した後、自然素材を使って稽古の様子を絵に描くなどして楽しく過ごし、お土産につきたての餅を持って帰りました。

わたし の 夢

5年 伊藤 圭純 かづみ

私のゆめは、たくさんあります。文や絵をかくのが大好きなので、画家になりたいし、作家にもなりたいです。

そして一番のゆめは、保育士さんになることです。去年ワクワクワークで保育士さんの体験をして、小さい子に「かすみさんせい」と言われた時は、かわいくてうれしかったです。どのゆめもかなえてみたいです。

ぼく の 夢

4年 尾上 雄一 おのうえ

ぼくのしょう来のゆめは、野きゅうせん手です。なぜかというとぼくは大谷せん手のようななかつこいいせん手になりたいからです。

大谷せん手はホームランやとうるいが多いので、すごいなあと思います。

そのためにぼくはバッティング練習とキャッチの練習をがんばりたいです。

わたし の 夢

1年 吉田 早那 さな

わたしのゆめは、ケーキやさんになることです。なぜかというと、ケーキはつくるのがむずかしいけれど、おきやくさまに食べてもらえることがうれしいからです。おすめはチョコレートケーキです。そのためにケーキせんもの学校へ行っておべんきょうしたいです。わたしのケーキを食べてもらって、みんなをえがおにしたいです。

ぼく の 夢

5年 田畑 朝陽 あさひ

私のしょう来のゆめは、オリンピックに出られるような、クライミングの選手になることです。

2024年の夏のオリンピックで、森選手が3位までには入れなかったけれど、すごかっこよくて、私もやってみたいと思いました。

いっぱい練習して、森選手のような選手になりたいです。

受賞

おめでとーいございます

◎第68回環境衛生大会表彰

環境衛生実践功労者

藤原康明さん(飯岩町)

環境衛生推進功労者

田中基子さん(松生町)

◎コミュニティ協会賞

田中孝一さん(南越木町)

告知板

わがまちクリン大作戦

主催 越木岩自治会

日時 6月1日(日)9時~10時

雨天中止

越木岩公民館運営協議会・地域学習推進委員会の活動終了について

令和6年3月末に閉館した越木岩公民館は「越木岩センター」として令和8年度中のオープンに向け準備を進めています。新センターは公民館として再開せず、地域の新たな拠点として、隣接する図書館などを含む「複合施設」を整備する予定です。

これにより、公民館活動推進のために設置していた「越木岩公民館運営協議会」と、地域課題の解決や交流のための講座などを開催していた「越木岩公民館地域

集合場所 越木岩会館

内容 地域内の道路や公園を

清掃し、現地解散します

声かけ運動

共催 苦楽園地区青愛協

北夙川地区青愛協

日時 6月上旬

場所 ①苦楽園中学校校門前交差点

②(有)苦楽園食糧前

③里道階段上(二差路)

④毘沙門公園南側

⑤セブニーイレブン

⑥理容店CHOCO前



学習推進委員会」の活動は令和7年3月で終了します。

今後は、新センター活動の立ち上げのため「新センター準備委員会」で住民主体の地域活動を支援する仕組みづくりを検討していきます。

5・6月の講座はありませんが、現推進員の厚意により、令和7年度中も数回講座を開催することになりました。チラシなどでご案内しますので、ぜひ参加してください。

新春行事 百人一首大会

苦楽園中学校

百人一首大会が、1月31日に体育館で開催されました。1年生(52期生)は4人ずつ、33グループに分かれて、クラス対抗で競いました。順位はクラス全員の取札数の合計で決まります。



じっと耳を澄まして...

畳に並べられた札を前に緊張気味の様子でしたが、琴のBGMに乗せて上の句が詠まれ始めると、どの生徒も真剣なまなざしで取札を探し始めます。一目散に札に飛びつく生徒もいれば、下の句を聞き終えてから慎重に取る生徒、お手付きをして悔しがる生徒などさまざまです。



前傾姿勢で挑みます

歓声が上がリ、身を乗り出して取り合う場面も。真剣勝負ですが、1枚取るたびに笑みがこぼれていました。残りの枚数が少なくなるにつれ、徐々にヒートアップし、白熱した戦いが繰り広げられました。会場は緊張感と歓声で盛り上がり、楽しみながら、最後まで真剣に取り組んでいました。1枚でも多く取れるように、朝読書の時間などで練習を積み重ねてきた成果が発揮された場となりました。日本の伝統文化に関心を深め、生徒同士の親睦とクラスの団結力を高めることができたとしよう。

越木岩地域の氏神様 ~皆様の健康をご祈念します~

6月30日
夏越大祓

越木岩神社

申し込み・問い合わせ 0798-71-8375
http://www.koshikiwa-jinja.jp/
〒662-0092 西宮市飯岩町 5-4

